



五十人山周辺の三角点 (△) 数字は標高

解説

左図でのmgNは方位磁石の指し示す北の方向。五十人山付近では真北とは6.5°のズレがある。日本列島では方位磁石の針は真北を示さない。これは地球の大きな磁石としてのN極、S極が地軸(自転軸)と同じでないため、このためにおこる方位磁石の針のズレを「偏角」といい、日本では西へズレる。(九州5~6°西、本州6~8°西、北海道8~10°西)

そのため東西南北を正確に示すには、磁石の本体を時計まわりに6.5°回して読まなければならない。(6.5°の程度は左図を参考に)

